

アレルギー電話相談Q&A 　まとめ(典型例のみを示した)

- 1 [気管支喘息（小児）…………… 1 頁](#)
- 2 [気管支喘息（成人）…………… 2 頁～ 3 頁](#)
- 3 [アトピー皮膚炎…………… 4 頁～ 5 頁](#)
- 4 [花粉症…………… 6 頁～ 8 頁](#)
- 5 [アレルギー性鼻炎…………… 9 頁](#)
- 6 [食物アレルギー……………10 頁～15 頁](#)
- 7 [アナフィラキシー……………16 頁～17 頁](#)
- 8 [蕁麻疹……………18 頁～19 頁](#)
- 9 [減感作療法……………20 頁](#)
- 10 [薬物アレルギー……………21 頁](#)
- 11 [その他……………22 頁～24 頁](#)

1 気管支喘息(小児)

Q(1) 5歳女児 3ヶ月前から咳が多い。総 IgE 107IU/ml ハウスダスト、ダニに37UA/ml と出た。

抗ヒスタミン剤で咳はだいぶ少なくなった。お兄ちゃんも総 IgE800IU/ml である。

確かに掃除をさぼっていた。薬はのみつづけてもいいか。

A: 薬は飲みつづけていいと思われまます。掃除だけはまめにお願いしたい。また風邪はひかないように手洗い、うがいの励行と人混みには十分注意をするようにしてください。

Q(2) 4歳女児 小さい時より風邪はひきやすい。喘息、アトピー皮膚炎、食物アレルギーがある。幼稚園では、子供は風邪をどんどんひいて抵抗力をつけなきゃだめと言われ困っている。喘息への理解がないのか、休ませることへの諫める言葉なのかわからないが、本当に困っている。風邪をひくと長引くし、喘息も出たりして休むことも多くなる。今は発作時のみ薬物療法をしている。本当に風邪はどんどんひいたほうがいいのか。集団生活を学ばせるのには必要な幼稚園と思っているのだが・・・。

A: 風邪をひかないように日頃から体力をつけておくことは重要なことと考えますが、風邪は喘息発作を誘発しますので風邪の時は休ませてもいいのではないのでしょうか。喘息には環境整備も重要になります。ほこりっぽい所は避け、うがいや手洗いの励行は守ってください。もちろんお部屋の掃除は、まめにお願いします。

Q(3) 4歳男児 ハウスダスト、ダニにクラス6と高値がでている。症状は落ち着いている。今回は布団と布団カバーの選択で迷っている。ほこりの立ちにくい洗える布団。カバーが高密度でダニが絶対に入らないとうたっている布団。どっちがいいのか。

A: ハウスダスト、ダニに対しては掃除の徹底と頻回の洗濯等が勧められます。洗濯が気にならずよく出来るのであれば洗濯の出来るものをなど、自分に合ったものを選ばれるのがよろしいかと思ひます。安価なものを買ひ換えていくのも一案かと思ひます。

2 気管支喘息(成人)

Q(1) 20年喘息で治療中の78歳の男性 今一番困っているのは嘔声と喉がひっかかった感じがあること。病院にかかっている、ステロイドの吸入剤とメプチンの内服をつづけている。

プレドニンの内服も長いので副作用のため血管が弱くなり皮下出血がみられる。どうにかして、薬の副作用なしで喘息が治せないものか。胃カメラをした時には、食道のほうまでカビが生えていると言われた。吸入剤の後は必ずうがいしている。

A: 吸入用ステロイドでの嘔声、カビによる口内炎はよく聞く副作用である。吸入後はよくうがいをしてほしい。食道のカビは問題です。有効な薬がありますので医師と相談してください。

Q(2) 16歳女性 小学生の時食物依存性運動アナフィラキシーと診断を受けたことがある。診断を受けたかかりつけ医が転居したこともあり、5~6年ずっと放置のままである。今まで何回か運動をすると倒れることを繰り返している。

意識消失、呼吸困難となり救急車で病院に行く。病院で数時間休んで帰ってくる。原因ははっきりせず、運動量も自分で判断しなさい程度で困っている。倒れるときには食べ物とは関係なく、飛ぶ、階段を駆け上がるなど心拍数が上がる時である。倒れるとき発疹など皮膚症状は一切ない。

A: 食物依存性運動アナフィラキシーというのは特定の食物と運動が一致してはじめて食後2時間以内に起こるアナフィラキシーをそう呼んでいる。考えられるのは運動誘発喘息である。しっかり検査されることをお勧めします。

Q(3) 43歳女性 4年前から喘息、花粉症、アレルギー鼻炎、アトピー皮膚炎種々もっている。薬をたくさん使っているため症状は今のところ落ち着いている。心配は薬を飲み続けても大丈夫かということ。喘息のプレドニンは頓服用としてもらっている。自分でも勉強し、講演会などにも出席したり本を読んでいる。医者まかせではだめと思い始めた。

A: 喘息日誌をつけているようですので、このまま薬でうまく管理されてください。薬を調子がいいから、調子がわるいからと、勝手に増量したり中断しないでください。発作時の対応もかかりつけ医とどの段階でどの薬を使うかなどよく相談されておくことも大事かと思えます。風邪だけはひかないように日頃から注意しててください。

Q(4) 32歳女性 子供の頃から喘息であった。結婚、育児等で一時治療を中断した。この間も発作で病院に行き注射をしてもらうことで治めていた。こここのところ3ヶ月に2回救急病院にかかりそのまま入院となるような強い発作が続き、日常生活をどのようにすごしたらいいのかなと思うようになった。そろそろ働きたいと思っているが、その息遣いではと、断られる。医者からも「レベルとすれば5~6なのに本人の認識は1~2の段階で意識が低い」と言われる。自分としては苦しくないのに他の人は苦しそうと見る。確かに呼吸音はいつもヒーヒーと音がしている。

A: 今かかっている病院にしっかり定期受診していただき必要な薬を継続して使用してください。今の状態はかなり重い喘息と思われるので、自己判断で中断しないようお願いしたい。

Q(5) 35歳女性 喘息で夜中に発作が起きたとき、点滴のみであった。病院によって対応が違うのか。また点滴と注射の処置の違いは何か。先生がはっきり説明をされないのが少し不安があります。

A: 点滴治療をうけられたようですが、おそらく抗炎症剤と気管支拡張剤が入っていたと思われます。病院により対応が違うとは思えません。そのときの発作の程度が問題になります。点滴となりますと水分が余分に補給されます。気管支拡張剤によって気管支が広がった段階で奥にたまっていた痰が水分の補給でだしやすくなります。発作時とはかく水分の摂取も出来ずカラカラになっている状態が多いのです。先生が説明をされないではなく、受診の際よくお聞きになることをお勧めします。

Q(6) 50歳女性 きちんと喘息と診断されたわけではないが、咳き込みが止まらないのと、喘鳴あり呼吸が苦しい。ステロイドの点滴を受けると楽になる。セレベントとフルタイドの吸入薬が処方されている。脈拍が速く130くらいになりバクバクして血圧も上がってしまう。ピークフローも器具は持っているが計測はしていない。フルタイド吸入も調子よくなるとすぐ止めている。

A: 喘息と思われるので、きちんとした管理が必要です。定期的に通える病院での管理をお願いしたい。薬のセレベントで脈拍が速くなるかもしれません。

Q(7) 43歳女性 5年くらい前から喘息。今も体調が良い時と悪い時がありどうも治療しているのにスッキリしない。常に息苦しさや胸の重苦しさがある。アドエアの吸入、アロテック入りのネブライザー、頓服薬のステロイド剤等を使いながらの生活である。今は仕事をしていないが、そろそろ仕事もしたいなとも思うが、人に迷惑をかけるのではないかと尻込みしている状態。

A: 薬の継続使用による喘息管理をしっかり身につけていただきたい。痰は常によく切っていたくためにも、ネブライザーの施行と水分の摂取を多めにしてほしい。また調子のいいときには、腹式呼吸の練習もよくしておいてください。発作の時役立ちます。

Q(8) 35歳女性 喘息で治療をして一年半になります。一年前は喘息らしい息苦しさはあまりありませんでしたが、半年前から職場の異動があり、その二ヵ月後から喘息症状が悪化しました。何か関係がありますか。最近はとて疲れやすくなっています。喘息症状が落ち着いていても疲労感がとてあります。喘息と関係ありますか。ちなみに私は白血球数が標準より少ないです。

A: 専門医回答 貴女の喘息の原因が何かわかりませんが、発症した喘息はいろいろな要因によって増悪、軽快をくりかえします。職場の異動によって増悪したということですが、異動によりストレスが増したり、あまり良くない環境であったりすると悪化することがあります。睡眠不足も悪化の要因になります。これらの複合的なものが貴女の喘息を悪化させているのかもわかりません。喘息の状態が良くないと疲れやすくなったりします。喘息が落ち着いていても疲労感があるとのことですが、睡眠は十分とっていますか。食事は如何でしょう。あまり気になるようでしたら、血液検査を受けられることをお勧めします。主治医の先生とも相談してみてください。

3 アトピー皮膚炎

Q(1)アトピー性皮膚炎で6年間ステロイド軟膏使用しているが、皮膚炎がひどくなり薬がだんだん効かないような気がする。生活上のストレス・食べ物などこれといった原因もわからずならだらと今に至っている。田舎町で町に出るのも時間がかかり血液検査も一度もしていない。

A一度血液検査をされ、アレルギーの原因が特定できるといいと思います。
皮膚ケアは確実にお願いいたします。

Q(2)5歳女児 アトピー皮膚炎があり血液検査でヒョウヒダニ・ハウスダスト・猫にでた。医者からは寝室を畳からフローリングにと勧められた。日常生活での注意事項を教えてください。
実家では猫を飼っていて、行くと鼻汁・くしゃみ・目の周りにポツポツと発疹がでる。

A：畳・じゅうたんよりフローリングが良いことはいわれている。掃除機をまめにかけ、部屋の中に植木やぬいぐるみなど、洗濯が出来ないものは極力避けていただきたい。寝具はよく干しシーツ類はよく洗濯してください。防ダニシーツ類は効果があるようです。
猫アレルギーがあることは隠さないで、実家での長時間の滞在には注意してほしい。

Q(3)27歳の息子の相談 子供のころから耳切れと肌荒れは気になっていたが、良い時と悪いときの繰り返しで今日に至っている。特に顔がひどくガサガサで腫れている。全身かゆいようだ。近くの病院で塗り薬と飲み薬を貰っているが効果はないようだ。いままで内科で皮膚科にかかったことは無くアトピーとしての検査もした記憶が無い。

A：本人の病気に対する意識が一番大切であるが、一度皮膚科にかかられて原因になっているものが特定できればいい。仕事上のストレスも大きく影響あるだろうが、規則正しい生活、バランスのとれた食生活、それに塗り薬、飲み薬による皮膚のいい状態での維持に心がけていただきたい。塗ったり、飲まなかったりの生活はこまります。専門医紹介。

Q(4)30歳男性 20歳過ぎより全身の発疹、乾燥がひどい。目のアレルギーもありまつ毛も抜ける。常に体がだるく、重い。皮膚科受診中であるが現状維持がやっとの状況でありこれ以上の治療はないといわれている。

総IgEが2万IU/mlが4万IU/mlと、どんどん上がってくる。これをどうにかして低値にしたいのだが。

A：専門医回答 総IgEの高値よりも臨床症状の方が重要である。RAST値の高いハウスダストやダニの暴露を避けるべく環境を整え、RAST値の高い食べ物は出来るだけ避けることが重要である。

Q(5)6ヶ月男児 ひざ、足首、頸部の湿疹とかゆみがひどい。夕方からは目の周りがかゆがり夜寝られない。薬はロコイド軟膏、ヒルドイド、抗アレルギー薬である。検査では卵と犬に出ている。卵は親も除去している。犬は実家で飼っているの、よく遊びにいたり、おばあちゃんが犬を連れて遊びにくる。

A：かゆみが強いようですので、かかりつけ医とよく相談して、かゆみだけは止めてあげたい。犬をかわいがっている人に近づくとアトピー性皮膚炎が出る可能性がありますので要注意。

Q(6)2ヶ月男児 湿疹がひどく脂漏性湿疹と思っていたが一週間前よりかゆみが強くなりかきむしるようになった。病院にかかりステロイド軟膏と飲み薬が処方された。母親である私が食物アレルギーがありステロイド軟膏で苦労したので、子供にはステロイド軟膏は使いたくない。

A：かきむしるほどのかゆみは止めてあげたい。それにはステロイド軟膏をきちんと使用してください。原因となっているアレルギーを特定することが第一です。

Q(7) 56歳女性 アトピー皮膚炎があり皮膚がカサカサしている。保湿剤として何がいいのか。アレルギー剤は内服中。

A：保湿剤としては白色ワゼリンがいい。その他、パスタロンソフトやヒルドイドソフトなどがあります。風呂上がりなどまだ皮膚に水分が残っているくらいの時にぬって保護してしまうのが一番よい。

Q(8) 6ヶ月の男児 祖母からの相談 両親ともアレルギーもっている。生後5ヶ月のとき全身真っ赤になりかゆがった。ステロイドの軟膏では治まらずステロイドの内服でやっと治まった。以後頸部と顔に湿疹が残っていてステロイドの軟膏を使用している。今かかっている皮膚科では「アトピーであるか否かまだわからない。様子見るように」とのこと。

母親は楽観的に思っているが、私(祖母)としては心配。また父親の実家では犬を飼っている。

A：そろそろアレルギーの検査をしたいと思います。はっきりすればその対応も考えますが、今はステロイド軟膏の副作用をあまり心配しないで使用しかゆみをとめてあげてください。

実家で犬を飼っているようですが、実家に行ったとき湿疹に変化があるかみていただけたらと思います。

Q(9) 5歳女兒 食物アレルギー卵が1歳のときはっきりして以後、卵は除去している。

その後検査は一度もしていない。お菓子に入っている卵くらいは食べてもなんでもないが、アイスクリームなどは発疹がでてしまう。動物アレルギーもあり、動物を飼っている家に入っただけで発疹がでる。動物園へ動物と触れ合う行事があるが参加しない方がいいか。

A：一度検査をうけていただき、卵も食べられるようになっているか否か調べた方がいい。

動物アレルギーがあるようでしたら、触れ合い行事は注意してください。猫とか犬アレルギーがあるとラビット、ハムスター、モルモット等にも注意が必要です。

4 花粉症

Q(1) 32歳女性 花粉症のアレルギーをもっている。ここ3年くらい前から果物を食べると口の中がヒリヒリするようになり喉もおかしくなる。最初はキウイ、りんご、1年前には桃を食べるとゼーゼー苦しくなった。今年は梨も食べられなくなった。これはアレルギーか。

A：花粉症の方である一定の果物を食べられない交差反応としての口腔アレルギー症候群というものがある。一度受診されることをお勧めします。専門医を紹介します。

Q(2) 33歳女性 5年くらい前から、秋だけであるがくしゃみ、鼻水、目がかゆくなる。血液検査ではハウスダスト、ダニ、花粉の主なもの調べたが何もでなかった。ペットも飼ってはいない。何かの花粉症と思う。今は売薬を使っているが、眠気が強いだけで効果が少ない気がする。

A：花粉を浴びない工夫に心がけてほしい。めがね、帽子、マスクの着用です。よくうがいと洗顔もしてみてください。一度専門医受診をお勧めします。専門医紹介。

Q(3) 40歳女性 5年前から花粉症あり。1年前の検査ではスギ、ヒノキ、ハウスダストと出ているが最近では通年となってしまった。目のかゆみと充血、目の周りの皮膚が赤くかゆみも強くなっている。ステロイド軟膏をもらい症状が治まるとすぐ、副作用が怖いので止めていた。この繰り返しをしたせいか、最近ではステロイドが効かなくなりかゆみが強い。体もカサカサしている。目の周りは特にカサカサしている。

A：アレルギー性結膜炎の可能性も考えられるので、アレルギーの専門の病院にかかってみてほしい。ステロイド軟膏は、副作用を怖がっていますが、むしろつけたりやめたりを繰り返す方が悪い。しっかり塗ってほしい。ステロイドの皮膚からの吸収は少なくあまり心配はいらないと聞いています。

Q(4) 27歳女性 3年前から花粉症あり。重症、難治性といわれている。先日ステロイドの筋肉注射がよく効くといわれ勧められ、一回注射した。効果はまだわからない。副作用はなにか。

A：ステロイドの筋肉注射は、通常の花柳症治療ではありません。副作用としては、感染に弱くなる。月経異常、注射局所の萎縮、皮膚が薄くなるか、副腎機能異常などがあります。花粉症専門医の受診をお勧めします。

Q(5) 45歳女性 喉がイガイガすると思っていたら、昨日から声がかれてしまった。夜中に少し咳き込んだが、これは花粉症か。29歳頃よりずっと毎日蕁麻疹がでるが、薬を飲んでも治まらないのでそのままにしている。最近ではアルコールを飲むとくしゃみが止まらない。

A：いろいろなかたちで症状がでていると思うが、アレルギーをおもちのようです。今症状がある花粉症として受診されることを、お勧めします。

Q(6) 25歳女性 2日前から喉が痛み風邪と思いきや風邪薬を飲んでいるが治らない。今朝になって喉のかゆみと鼻水がダラダラでる。これは花粉症か。

A：花粉症の疑いがつよい。内科か耳鼻科におかかりください。この時期は花粉を浴びないように外出時はマスク、めがね、帽子等で注意してください。

Q(7) 7歳女児 花粉症がひどく鼻閉がつよい。鼻血もでる状況。薬は点鼻薬も最近では効かなくなってきた。年齢が低いのであまり強い薬は使えないという。どうしたものか。

A：どこの耳鼻科にかかれてもこの時期は症状をおさえる薬を使用とおもう。症状が落ち着い

ている時期に他の方策を相談されるといい。

Q(8) 28歳女性 花粉症でレーザー治療何回もやっている。焼灼直後はいいが症状がまた出てしまう。何回もやっているのに、医師からは「もう、やらない」といわれた。何か弊害があるのか。去年焼灼後、インフルエンザワクチンの注射をしたところ、手の指が腫れた。

A: レーザー治療施行されている先生によく相談されてください。インフルエンザワクチン後の手の腫れはワクチンのアレルギーによるものかもしれない。レーザー治療とは別に今後も注意してください。レーザー治療以外の治療法の減感作療法なども考えられたらどうでしょうか。

Q(9) 36歳女性 花粉症か風邪なのか区別つかない。ここ1~2年前から花粉の時期になるとくしゃみ、頭痛、喉の痛み、集中力の低下がある。熱はない。風邪薬を飲んでも治まらない。

A: 花粉症の症状と思われます。一度受診をしてください。風邪薬はどちらかというと鎮痛解熱の作用となります。花粉症は一般的に抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤を使います。

Q(10) 24歳男性 花粉症あり。春先、秋口一年中にちかい。今回会社の健康診断で総IgE値1353IU/mlと出て高いですよと警告をうけた。どうしたものか。花粉症以外の症状はまったくない。

A: アレルギー疾患としての花粉症をある程度長い期間苦しんでいる方とか、いろいろな種類の花粉にたいして反応するような方は、この値が高くなる傾向があります。高いから症状が重いというものでもありません。花粉症を長く患っているようでしたら、減感作療法という治療法もあります。

Q(11) 花粉症で嘔気がするののか。

A: 花粉症での全身症状は倦怠感を一番聞きますが人によってまちまちです。一つ考えられることは花粉症の方の口腔アレルギー症候群があります。ある特定の果物野菜を食べると口腔咽頭粘膜が過敏反応をし、かゆみ、ぴりぴり感、口唇の腫れ、味がまったくわからないという方もいます。一度花粉症での受診をお勧めします。

Q(12) 24歳男性 先日血液検査で総IgE値1399.7IU/mlと高い値がでた。自分自身その値が意外なくらい症状はありません。春先2週間ほど花粉症があり、食べ物でも果物(りんご、びわ)にアレルギーがあります。花粉症にしても短期間で、鼻がつまるなあ、、、くらいでりんごもびわも、加熱して食べる分にはまったく問題なく、生で口にしても、喉がイガイガする、少しかゆくなるといった程度です。中学生のころアレルギー結膜炎と診断されたこともありますが、症状はでません。

小児アトピーを経験していると総IgEが高くなる傾向があるという話を聞いたのですが、小児アトピーにかかったこともないです。

総IgEの値は下げることができるのでしょうか。

A: 専門医回答 総IgE値1399IU/mlはやや高めですが、何らかの抗原暴露されていれば、値は高くなることがあります。アトピー皮膚炎では高めに出るといわれています。花粉症と花粉症による口腔アレルギー症候群でも高値を示しますが、その他寄生虫感染などの場合でも高くなる場合があります。抗原特異的IgEを調べれば個々の抗体値がわかりますが、病的意義のないものもありますので、症状が軽度であればこの検査は意味がありません。IgE値は比較的長く高値を示しますが年余で減少してくることもあります。抗IgE抗体の注射でさげることがある程度可能ですが、この抗体療法は現在ではまだ我が国では承認されていません。IgE値はア

アレルギー疾患であるか否かの診断の参考にはなりますが、値が陰性でもアレルギー疾患を否定できません。ですから値だけでは断定できません。

Q(13) 42歳女性 花粉症歴は30年くらい前からですが、ここ4～5年は特に酷くなっている。兼業農家でこの時期はどうしても鼻炎を抑えることができない。顔中ぐちゃぐちゃにして仕事をしている。呼吸が苦しくマスクはつけられない。鼻の通り道が大変細く内視鏡を通すことも出来ないくらいで、通年片方の鼻しか通らずこの時期は両方塞がってしまいます。市販の点鼻薬、飲み薬等試していますが、効果があるのはほんの一時で再びひどい鼻炎にもどってしまう。顔も浮腫んでいます。よい治療法は。

A: 専門医回答 ひどい花粉症のようです。全身性の花粉による反応が出ているので、ただ単にレーザーで鼻粘膜を焼灼しても鼻しか効果が見られないでしょう。出来れば免疫療法などをお勧めしたい症例です。花粉症の専門医施設の受診をお勧めします。

5 アレルギー性鼻炎

Q(1)アレルギー性鼻炎もっていた。自分は普通の減感作療法と思い治療をつづけていたが、先日注射しているのはヒスタグロブリンであり、非特異的減感作療法ですといわれた。またヒスタグロブリンは血液製剤であると聞いた。今騒がれている血液製剤と同じかと心配になった。最近2週間に一回であったのに軽い喘息がでているので1週間に一回としましょうといわれ、さらに不安になった。効果は直ぐに出ないものと思うが、あまり効果はみられない。

A：ヒスタグロブリンは生物製剤で、ヒトの成分が入っています。加熱製剤であり問題ないとされていますがよく先生と相談してください。

Q(2)5歳女兒 乳児のとき食物アレルギーあったが今は耳鼻科でアレルギー鼻炎治療中である。アレルゲンの血液検査で、総IgE 1868 IU/ml、ハウスダスト、ダニがクラス6とでた。その際食品も調べ、卵クラス4、トマトクラス2であった。食べ物は卵の加工品はたべても大丈夫でトマトも食べている。これはどう理解したらいいのか。

A：今までどおり卵の加工品、トマトが食べられるようでしたら、検査値が出ていてもたべていただいてもいいです。ハウスダスト、ダニに対しても今まで通り掃除をまめにさせていただくことで、対応を。総IgE値はクラス6の特異的抗体価があるようですので、当然高くなります。

6 食物アレルギー

Q(1)健康食品プロテイン（原料大豆）をたくさん摂ったほうが効果ある様な説明を受けたので、通常の3倍から5倍量を摂取していた。4ヶ月後ある日アナフィラキシーショックをおこした。そのとき医師から大豆によるものであるといわれた。これまで大豆食品は普通に摂っていたがなんでもなかった。大量にプロテインを摂取したためか、規定の量であっても起こったか。

A：専門医に相談 回答 プロテインの成分に感作されている可能性もあるが、大豆が唯一のものではなく他の成分に感作されていることも考慮する必要がある。アナフィラキシーの発症には素因も関与している。原因を確かめるためには皮膚反応・RAST・食物負荷試験がある。

Q(2)9ヶ月児 小麦・乳・卵のアレルギーが有ることが分かった。現在母乳と離乳食（おかゆと野菜）をやっている。顔の湿疹がよくなるらない。

A：母乳にお母さんの食べている卵・乳製品の影響があるかもしれない。一度お母さんも除去した食事をとって湿疹の変化をみてください。

Q(3)8歳の男児 2週間前アレルギーの検査をしてピーナッツがクラス6 ゴマ・大豆がクラス4と出た。ピーナッツは一度アナフィラキシーを起こしたが、ごま・大豆は検査データが出るまで判らなかった程食べても何でもなかった。今かかっている医師からも食べて大丈夫なら食べてもいいと言われている。

A：食物アレルギーは検査データと症状の出る出ないは一致しないといわれています。食べてみて症状が出ないようなら、食べてください。ピーナッツの誤食には気をつけてください。

Q(4)49歳女性 10年前から青魚を食べると鼻水・咳のあと蕁麻疹が出るようになった。血液検査で、かに・海老もわかったが、その後たこやき・そば・はまち等食べアナフィラキシーを起こし、その都度救急車を呼んだ。その後食べ物が怖く不安、パニック障害をおこしている。エピペンも持っているが不安解消にはなっていない。どこの病院に行っても子供ではないので、食べなければいいと、相手にしてくれない。専門医の紹介をお願いしたい。

A：食物アレルギーはダメな食品を食べないようにするしかない。エピペンを持っているのだから、手順を作っておき症状が出たときそれに従い落ち着いて対処できればいい。

Q(5)中学1年女児 幼稚園の時くるみを食べ体のかゆみと目が腫れた。以来くるみは食べてはいない。先日外食時、気分が悪くなり腹痛とともにぐったりしてしまった。休息をとって落ち着いた。どうもドレッシングにくるみが入っていたようだ。誤食に対してどうしたらいいのだろうか。

A：誤食に対応する意味で抗ヒスタミン薬、エピペンの持参も考えられます。専門医紹介。

Q(6)乳アレルギーあり。乳酸カルシウム、乳化剤、乳糖は大丈夫か。

A：乳糖は乳です。乳酸カルシウム、乳化剤は乳ではありません。

Q(7)2歳女児 卵、乳、小麦、大豆、ハウスダスト、ダニ等のアレルギーがある。卵、乳はクラス6であるが、インフルエンザ予防注射はやって大丈夫か。また食前に飲ませるインターールを保育園では飲ませることが出来ないといわれている。医師の診断書を添え飲ませてほしい申請書を出しているがなかなか許可がおりない。このようなことはむずかしいことなのか。

A : インフルエンザワクチンは今は注意しながら接種できる見解ではあるが、クラス6と卵アレルギーが強いので、担当医とよく相談してください。薬を飲ませる件は親が飲ませるのとは違い難しい問題です。

Q(8) 5歳男児 小麦完全除去にしているが、おばあちゃんがうるさい。食物の減感作療法はないのか。母親の私としては完全除去で調子いいのでこのままでもいいのだが……。食物負荷試験をやっている病院を教えて。

A : 食べ物の減感作療法は稀ですが、少量から徐々に量を増やしながら経口摂取をさせ、耐性をつけるという方法はありますが必ずしも成功率は今のところ高くないようです。子供の成長と共にある程度食べられるようになるとおもわれる。定期受診と定期検査で除去食解除の時期をみるとおもう。解除するにあたり食物負荷試験で正確な診断ができます。食物負荷試験やっている病院紹介。

Q(9) 2歳女児 子供の食べるグミで蕁麻疹と咳き込みがあった。以前にも着色料の入った金平糖をたべて同じ症状がでた。咳き込み方はその時その時違い、軽いととき、ひどく激しいときもある。

A : 着色料とか食品の添加物の特定はむずかしいので、食品表示を確認する習慣と、含まれているとおもわれるものは、極力さけていただきたい。

Q(10) 1歳半男児 卵アレルギーがあり除去をしているが、最近無理に牛乳を飲ませると機嫌が悪くなり飲ませられない。ヨーグルト、チーズは食べている。卵アレルギーがあると乳アレルギーもあるのか。周りの子があれも食べられるこれも食べられると聞くと、ついつい自分の子もと、遅れてしまうのではないかと心配になる。

A : 卵と乳アレルギーは、両方もっている方が多いが別である。機嫌悪くなるようなら飲ませないで、きちんと検査してみることをお勧めします。

Q(11) 食物アレルギーの一般的な意見を聞きたい。

第一子がアレルギーがある場合、第二子の妊娠中も食べ物を制限したほうがいいのか。また、アレルギー素因を持っている児は卵、乳を最初から制限したほうがいいのか。症状としては皮膚症状だけか。

A : 妊娠中の食事制限は特に多量に食べない限り制限はしていません。むしろバランスの良い食事をとっていただきたい。アレルギー素因を持っているだけで食品を制限することはありえません。症状がでて、アレルゲンとしてはっきりしてからその食品を制限します。症状としては、皮膚症状、消化器症状、呼吸器症状それぞれ違ったかたちでです。一番怖いのは、全身に症状が急激にくることです。

Q(12) 米生産者からの相談 慣行栽培のお米でアレルギーであることあるのか。逆に無農薬、無化学肥料で栽培されたお米は体質改善につながりますか。

A : アレルギーの原因はお米の蛋白ですので、無農薬、無化学肥料で栽培されたものでもアレルギーは起こり得ます。体質改善にはつながらないと思われま。

Q(13) 4歳の男児 食物アレルギーある。卵、小麦、そば、ピーナッツである。今度引っ越すことになったが、近くに飲食店がないほうがいいのか。

A : そばとピーナッツは少量でも激しいアレルギー症状をおこすといわれています。食べなけれ

ば大丈夫ですが、ただ蕎麦屋で打っているそば粉が飛んでいたり、蕎麦屋さんのゆで汁にそば粉が入っていたりしますので、蕎麦屋での飲食は注意してください。

Q(14) 3歳女児 滲出性中耳炎があり、食物アレルギーがあるかもしれないと検査したところ、卵クラス1、小麦、ゴマクラス3とでた。一応小麦、ゴマ、卵は除去して下さいと言われてたが、目に見えての症状もなく、中耳炎も悪化しているとは思えない。このまま今までどおり食べさせていけないのか。

A: 中耳炎が軽快しないようなら小麦アレルギーの影響も考えられるが、慎重に今までどおり食べてみてください。症状が悪化するようなら中止してください。

Q(15) 2歳6ヶ月男児 ピーナッツアレルギーあり。先日ピーナッツの入っていないパンを食べたところ、ピーナッツを食べた時と同じ症状、鼻水、くしゃみ、呼吸がヒューヒューとなった。医者に行き事なきを得たが、医者はピーナッツ以外何か考えられるものがあるかパン屋によく聞けという。何を聞いたらいいのか。

A: ピーナッツは少量でも激しい症状がでるアレルゲンである。ピーナッツの入らないパンであっても、ピーナッツの入ったパンを作った同じ調理台、調理器具であったか聞いてみる必要があるかもしれません。抗アレルギー剤を緊急時対応できるようにお持ちになるのも一策かもしれません。

Q(16) 1歳3ヶ月男児 母乳と離乳食の段階である。先日皮膚症状があり血液検査をした。

総 IgE 値 3519 IU/ml と高値で、クラス6が卵白、乳、小麦、クラス5が大豆、鶏肉、えび、かに、クラス3は米、まぐろ、さけ。ダニ クラス4、ハウスダストクラス3、ねこクラス2と結果が出た。貧血が少しあるようだが、かかりつけ医はいろいろなものを食べさせ症状が何で出るのか食物日誌をつけるようにとのこと。それでいいのか。

また、回転食とは何か。魚はよく食べてくれるが、野菜を食べない。どうしてもみかん、バナナになってしまう。

A: 食物日誌をつけることは大切なことです。症状が悪化したとき、どのような食品をどのくらい食べたか、はっきりさせる必要があります。回転食というのは、食品がかたよらないよう、またいろいろな食品をバランスよく食べてもらう意味があります。

Q(17) 2歳5ヶ月男児 ピーナッツアレルギーあり。早く治してあげたい。どこの病院どの先生に聞いても「ピーナッツを食べさせないで」と言われる。他にないのか。今年から保育園に入る。

A: ピーナッツを食べないことが、症状を抑えることになります。ピーナッツは少量でも激しい全身症状が出る場合がありますので、自分の家で少し食べさせてみるなどという方法はとらないでいただきたい。保育園にはその旨申し出ておいてください。

Q(18) 小学4年男児 幼児の頃から寒冷蕁麻疹はあった。小学校に入り給食を食べるようになった頃よりパンを食べて運動をすると必ず喉が苦しくなる。パンだけ運動だけではなんともない。パンがどうもよくないことが最近わかった。今は午後から運動をするときはおむすびを持参する。そうすることで予防できている。

A: ある特定の食物と運動が一致したときおこすアナフィラキシーで食物依存性運動誘発アナフィラキシーとよんでいる。一度しっかりと受診されることをお勧めします。

Q(19) 1歳半男児 6ヶ月のとき血液検査でアレルギーがわかった。(アナフィラキシーおこし) 今も足を痒がり膝の裏側に湿疹がある。一番の症状は朝、夕の咳き込みである。オノンの内服中。小麦クラス6、大豆クラス5、卵クラス5、乳クラス2 ジャガイモ、米、ダニ、ハウスダストにも出ている。現在保育園で食事対応してくれているが、鉄分不足とIgA,IgGも低く、免疫機能が半分しかないといわれている。大豆の食物負荷試験をすることになっているが、いつも体調が悪くなってしまいなかなか出来ないでいる。何を食べさせ、何をしたらいいのか。

A: 食べ物も制限されお母様としては心配でしょうが、もう少し成長されるまで除去食をつづけてください。風邪をひかないように、一番体調のいいときに食物負荷試験をしてもらいましょう。

Q(20) 45歳女性 昔から鯖はすきでよく食べていた。最初は食あたりと思っていたが、食べる
と胃の激痛と発疹がでて1~2時間で消失する。昨日も食べて嘔気と嘔吐がひどくやはり発疹も全身にでた。これでアレルギーかと確信した。これは生涯消えないのか。

A: 人によりアレルギーの症状の出方は違うが、多分その疑いが強い。受診されはつきりさせるのがいいでしょう。成人になっての発生は自然消失はまれといわれていますが、一定期間鯖は食べないでください。

Q(21) 4歳女児 乳アレルギーをもっている。チョコレートを食べたいというのでビターチョコレートで豆乳を用いチョコレートを作り食べさせたところアナフィラキシーを起こしエピペンを
をつかった。乳は入っていないとビターチョコレートには表示されていたが、「製造ラインでは乳を使用した製品を製造しております」との注意喚起表示はあった。

A: 「製造ライン…」は極微量に含まれる可能性を示していますので、アレルギーの強い方は今後
も注意してください。エピペンを落ち着いて使用でき、救急車を呼べたのはお母様としては満
点です。今後も落ち着いて対応できるように日頃の準備をきちんとしておいてください。

Q(22) 52歳女性 4~5年前からりんご、キウイを食べると喉がイガイガして食べられなくな
った。最近はおぼろ、菜の花、ほうれん草等食べると一時間ほどで具合が悪くなり、下痢をす
るようになった。果物はともかく野菜がこうも種類が多くなるとつらい。どうしたものか。子
供の頃喘息があった。今は花粉症の症状もあまりないが、ゴム手袋は使えない。

A: 花粉症やラテックスの人が特定の野菜果物が食べられない人がいます。症状がでる食物は避
ける以外ありません。

Q(23) 花粉症があり血液検査をした。スギ、ガ、えび、ダニがクラス2であったが、アニサキス
でクラス3とでた。アニサキスが何であるのか解らない。

A: 専門医回答 アニサキスはサバとかイカに寄生する寄生虫です。この虫を生きのまま食べた
時胃壁などに食いつき胃痛、腹痛をおこし食中毒と間違われたりします。アニサキスの抗体値
が高く出ているので、食べて蕁麻疹が出たり下痢をする症状があるかと思えます。蕁麻疹で
原因がわからない方がこのアニサキスのアレルギーを持っている方がいることがあります。

Q(24) 4歳4ヶ月女児 ピーナッツアレルギーあり。負荷試験するまでもなく除去してください
といわれている。現在幼稚園には弁当持参しているが、ピーナッツの許容範囲はどのくらいな
のか。医師からはエピペンをすすめられている。

A: ピーナッツは少量でも激しい症状が出ることが多いので許容範囲などはない。除去が絶対条
件である。ただ誤食時のためのエピペン持参がよいでしょう。

Q(25) 6歳男児 今春入学を控え、学校側と給食の件で話し合いをした。「特別扱いは出来ない」と弁当持参は納得している。他の地方はどのようになっているのか聞きたい。

A: 給食が食物アレルギー児の個別対応している学校はまだ少ない。弁当持参が多いかと思う。

Q(26) 4歳女児 乳、卵、大豆、ピーナッツのアレルギーがある。今まで3回アナフィラキシーをおこした。醤油にさわったり、牛乳が皮膚についただけで蕁麻疹をおこしてしまう。幼稚園での誤食も心配。年齢は小さいが16kgと体重があるので、エピペンを持つことになった。ショックを起こしたような食べ物は一生食べられないのか。

A: 長袖、長ズボンの着用を心がけてください。また皮膚についたときは出来るだけ早く洗い流してください。ショックを起こした食品でも食べられるようになる可能性はありますが、いつ頃とかの予測はできません。エピペンは緊急時での使用になりますので日頃の準備をきちんとしておいてください。

Q(27) 9ヶ月男児 母親の私が肉アレルギーをもっている。子供が保育園入園にあたり血液検査をしたがすべて陰性でた。どうも食べて調子悪い食品はある。血液検査がすべてではないのか。

A: 血液検査がすべてではない。一定期間食物日誌と体調の変化をつけてみれば食品は、はっきりすると思う。スクラッチテストなどの皮膚反応などされるといいかもしれない。保育園はそれなりに診断書等提出しないと対応してもらえないと思われます。専門医の受診をお勧めします。

Q(28) 22歳女性 母親からの相談。中学生の頃までアトピー皮膚炎があったが治っていた。昨年松の実を食べて眼瞼がひどく腫れ上がった。以後何となく顔が赤く、常に手を顔にもって行く。かゆみがあるのではないかと心配している。本人はあまり気にしていないが親としては、またアトピーが出たのではないかと心配している。松の実入りのピZZアを食べた時も味がおかしく喉を通るとき異常であったと訴えたことがある。

A: ナッツ類のアレルギーがあるかもしれない。一度専門医で検査されることをお勧めします。

Q(29) 1歳2ヶ月男児 卵アレルギーと診断された。クラス2である。気になることは、私が妊娠中に卵を食べたせいでと、責められた気がした。父親はアレルギー体質である。予防注射は卵アレルギーがあっても大丈夫か。

A: 今は妊娠中制限をした食事をして、しなかったりでもアレルギー発症にはあまり差がないことで、妊娠中は制限のない食生活をすすめています。予防注射は今のところ卵アレルギーがあってもほぼ大丈夫ということになっています。ただ注射施行時は体調の良い時を選び、施行前の問診に卵アレルギーがあることを申告しておくことは大切です。承知しててください。

Q(30) 4歳女児 食物アレルギーあり。米の使用にあたり現在酒米を食べさせている。症状あまりよくなりません。酵素処理米が出されているが、そちらの方がいいか。

A: 専門医回答 酵素処理米であっても超高压処理米でもこれらは低アレルゲン米であって、完全に症状が出ないわけではない。どちらがいいかについては断定できない。何れにせよ少量を食べさせてみて（普通量の1/10程度）症状が出なければ少しづつ量を増加させて食べさせたらいいかでしょう。食物アレルギーの場合にはRASTが陽性であっても問題ない場合が少なくない。又自然寛解することもあるので少し辛抱して食事に注意してもらいたい。加熱するとア

レルゲンの力価は低下します。

Q(31)米アレルギーがある。米のどういう成分で起こすのか。胚芽の中にアレルギー物質が含まれているか。胚乳、米ぬかの中にも含まれているか。

A：専門医回答 米のアレルギーは頻度としては非常に低いです。血液検査（IgE 抗体）で反応のある人は沢山いますが、実際に食べて症状が出現する本物の患者さんを捜すのは大変難しいです。米の蛋白質の可溶性分画のアルブミンとグロブリンが主なアレルギー反応を起こす物質です。胚芽の中に蛋白質が多く存在します。精米した白米より胚芽を伴う玄米の方がアレルギー反応を起こす能力は高いと考えます。したがって、胚乳、米ぬかの中にもアレルギーは存在すると思います。

Q(32)10歳女児 卵、小麦のアレルギーがあり、完全除去食にしている。パンを食べさせてあげたくて、米粉のパンにしているがふっくら感がない。ライ麦、オーツ麦など小麦ではない麦のパンは大丈夫か。ふっくらした麦のパンの感触のパンを食べさせてあげたい。

A：専門医回答 小麦とライ麦、オーツ麦はある程度の交差抗原性（似ている蛋白質が存在して血液検査では陽性になってしまう場合や、実際にたべて反応がでてしまうこと）があります。したがってそれぞれの IgE 抗体の検査と負荷試験を行わないとなんともいえません。負荷試験のできる専門施設で相談してください。

7 アナフィラキシー

Q(1) 2週間前、服を着た瞬間虫に刺された。何の虫か見ていないが刺された部位が赤く腫れ上がった。呼吸が出来ないほどの咳が出て意識が朦朧とするなか救急車で搬送された。小学6年生の時、蜂に刺されたことがある。今後このようなことあると困る。

緊急用の注射があると聞いているが…。

A : エピペンがある。これはアナフィラキシーを起こす可能性がある方が持ち歩いている薬である。まだ保険が効かない。有効期限も短い。

Q(2) 43歳女性 3年ほど前より蕁麻疹がでるようになった。最初は冷たいものに触ったりすることによるものと思っていたが、どうもパンを食べた後運動（ダンス）をすると出ることに気がついた。最近ではパンを食べて歩いただけで体中が赤くなる症状と激しい腹痛を伴うようになった。1～2時間で治まる。聞くところによると食物依存性運動誘発アナフィラキシーというものではないか。今のところ小麦製品は食べてはいない。近医でアレルギーの検査中である。

A : ある特定の食べ物と運動が組み合わさることによるアナフィラキシーである。しっかりと診断を受けていただきアナフィラキシーは急激にくるので、主治医とよく相談されそれなりの準備をしておいてほしい。専門医紹介。

Q(3) 61歳男性 奥様からの相談 公園の樹木を扱う仕事をしている。蜂アナフィラキシーを起こし以後、エピペンを持ち歩いている。家族としては心配。どのような注意が必要か。

A : まず刺されないように長袖、帽子などの装備をいつも完全にしてください。

エピペンをお持ちのようですので、刺されたとき落ち着いて行動できるよういつも準備をしておいてください。エピペンの有効期限は短いのでその確認もお願いします。香水もつけないでください。

Q(4) 60歳男性 4～5年前からそば、カニ、エビ、チーズを食べると手、体に発疹が出るようになった。旅行中、スパゲティを食べ10分後体が異常にだるくなり、カーと熱くなり意識を失った。スパゲティに何が入っていたかは分からない。

A : 食物アレルギーによるアナフィラキシーであった可能性が高いです。まず皮膚科かアレルギー科で食物の特定をされますことをお勧めします。そしてその食品は口にしないことです。知らないで食べてしまったりした時のために、抗アレルギー薬、エピペンなどを持ち歩くなど、それなりの対応があります。

Q(5) 20歳女性 3年前にエビアレルギーと診断されている。1回目はアナフィラキシーショックを起こし危険な思いをしたので以後エビの調理には神経質になっていた。先日外食でエビのアレルギーがあると申し出たが、エビの身さえ入っていなければと、エビでとったスープが出されアナフィラキシーをおこした。何とか漢方薬のようなもので、治すことはできないだろうか。アナフィラキシーの時のための薬は持っている。

A : エビを避けていただく以外ない。誤食時の対応は常に準備怠りなくお願いしたい。食物アレルギーでの漢方薬はあまり聞かない。

Q(6) 73歳母親のこと。先日アナフィラキシーショックをおこし救急病院にいった。血液検査ではすべて陰性であった。今もその時食べたさんま、がんもどき、まいたけ類は除去している。出た症状としては目の周りが腫れ、体中が真っ赤になり、呼吸困難となった。食後30分であ

った。本やインターネットなどで調べるとエピペンという自己注射があるようだがどうか。

A：原因がはっきりしないアナフィラキシーで心配でしょう。エピペンはショック時の血圧低下を防ぐものなので高血圧がある方達は慎重に使わなければなりません。むしろ抗ヒスタミン剤の内服薬を持っていた方がいいような気がします。

8 蕁麻疹

Q(1) 20歳男性 子供の頃から、アトピー皮膚炎はあった。最近はおさまっている。最近蕁麻疹が出るようになり困っている。よく眠れた日は出ない。大学の部活もあり生活は不規則である。血液検査ではそば、小麦、大豆、米と、主食となる食物にでてびっくりしている。病院ではそばは食べないで、他のものは食べて様子を見ましょうとのこと。蕁麻疹に対しては2種類の薬が処方されているが、飲んだりやめたりしている。

A: そばは少量でも激しいアレルギー症状がでるので注意してください。蕁麻疹に対しては薬を飲んだり辞めたりが一番よくない。2週間くらいは飲みつづけてほしい。また十分な睡眠をとっていただくことと、規則正しい生活が一番効果的だと思います。食物もいろいろな食品をバランスよく摂取されますことをお勧めします。

Q(2) 43歳男性 夕方走って体が熱くなるとポチポチと臀部からはじまり全身に蕁麻疹がでる。体を動かすのが悪いようで入浴なんかは大丈夫。10分から15分で引いていく。内科でアレルギー薬をもらったが、体質改善のような治療法はないのか。アルコール、タバコは止められない。むしろストレスになる。

A: 体質改善はない。薬を飲んで症状改善につとめてほしい。薬の内服はある程度長期になるかもしれません。

Q(3) 26歳男性 中学生のとき卵を食べすぎ卵アレルギーになったが、以後検査は受けていない。最近、熱に対して反応するようになってしまった。暖房、風呂、ドライヤーの熱、日光のもとの運動が悪い。夏の時期の暑さはなんでもないが、夏以外の時期の熱がよくない。かゆみと腫れてくる。

A: 多分症状からコリン性の蕁麻疹と思われる。受診されることをお勧めします。日頃より規則正しい生活、休養を十分とりストレスをためない生活をしていただきたい。

Q(4) 18歳女性 シャワーを浴びると発疹とかゆみができる。コリン性蕁麻疹といわれ抗ヒスタミン剤を飲みつづけている。中学の時はクラブも楽しくやっていたのに、高校に入り制服とか校則がきびしく嫌で、学校に行きたくないと思いはじめてから、症状がひどくなった。犬も飼っているが、精神的に癒されていると思う。犬のため家族中がくしゃみをしているが飼っている。

A: シャワーは低めの温度にして、汗をかいた時には直ぐに洗い流してください。蕁麻疹はストレスが大いに関係しているといわれています。犬をお飼いになっているのはいいことですが、犬のシャンプーは頻回にしてください。薬の内服は長期になる可能性もあります。症状がよくなるとすぐ止めてしまう方が多いのですが一定期間はしっかり飲んでいただきたい。

Q(5) 18歳女性 受験を控え頑張っている娘である。毎日蕁麻疹が出て困っている。薬をもらっているが夕食後が一番痒くなる。薬を飲むと眠くなるので今は朝、夕内服の指示が出ているが、夕しか飲んでいない。

A: 受験でのストレス、疲労がたまっているのでしょうか。受験が一段落ついたらしっかり検査することをお勧めします。

Q(6) 65歳女性 昨年あたりから運動をしたり、暖かい部屋に入ったり、ドライヤーを使ったりすると目の周りが真っ赤になる。まるでメガネザルようになる。涼しいところにいくと消えていく。専門医を紹介してください。

A：蕁麻疹の疑いがあります。専門医紹介。

Q(7)女性 花粉症があり調子悪く寝込む時さえある。最近シャワーを浴びたり、布団に入り温まると目の周りが赤く腫れ上がる。特に汗をかくような運動をしても同じ症状になる。

A：花粉症の症状は薬でおさえていただく以外ない。後は出来るだけ花粉を体に入れないようにうがいや洗顔で花粉を洗い流してほしい。花粉症には減感作療法という治療法もある。運動したり、シャワー浴のあとのかゆみと発赤、腫れは蕁麻疹が疑われます。一度受診されますことをお勧めします。

9 減感作療法

Q(1)花粉症あり。舌下減感作療法をしている病院教えてください。

A：現在、治験の段階です。保険適応ではありません。日本医大、独協医大、千葉大、山梨大、岡山大、三重大、福井大、秋田大の耳鼻咽喉科となります。

Q(2)28歳女性 喘息、皮膚のかゆみがあり猫アレルギーの減感作療法を受けています。

今は1ヶ月1回決まった量を注射していますが、減感作療法は妊娠中でも継続可能でしょうか。減感作療法をはじめて4年弱。一定量になって(100倍に薄めたものを0.1)から2年9ヶ月です。

A：専門医回答 妊娠中の減感作療法の安全性に関しては、維持療法として同量を継続することは、問題ありません。ただ、副作用としてのアナフィラキシー反応を起こさないためにも妊娠中の増量は避けるべきです。喘息とアトピー皮膚炎があるとのことですが、妊娠中の喘息治療の注意点は、薬剤の副作用よりも喘息発作による胎児への酸素不足のほうが大きな問題ですので、もし薬剤による治療を行っている場合は、妊娠前からの治療を継続し発作を予防することが大切です。

Q(3)カビの減感作療法を行った場合の効果はどうなのでしょう。ある先生は効果は期待できないと言い、別の先生はよい印象にあると言っています。

A：専門医の意見 効果はあると思いますが副作用(肺病変、腎障害)が心配です。施行されるようでしたらよく先生と相談され副作用に注意してやってもらってください。

10 薬物アレルギー

Q(1) 64歳女性 去年から全身のかゆみと、ポツポツができ真っ赤にただれている状態。アレルギー検査では杉・ひのき・食物・犬・猫なにも出ていない。仕事で花の栽培をしていて消毒を頻回にするのでその消毒薬が悪いのではないかと思う。作業は手袋なんかしていると仕事にならないので、素手で行っている。

A：一度しっかりと診察をうけていただきたい。作業のときは、皮膚を被う工夫をしていただけたらと思います。専門医紹介。

Q(2) 3歳男児 卵、乳、ゼラチンのアレルギーがあります。かなりひどいアレルギーなのでいっさい予防注射は受けていません。このままそうしたいのですが、社会が受けないといけない風潮にあるのが現実です。どのような予防注射にどのようなアレルゲンがあるか教えてください。又P.S水銀なども気になります。

A：専門医回答 予防注射により多くの命が救われてきました。公衆衛生の観点から感染症制圧には予防注射は不可欠です。今のワクチンはゼラチンフリーになっていますし、チメロサルも含有しない製剤もでています。鶏卵アレルギーのある場合にはインフルエンザのワクチンだけ注意が必要ですが、その他のワクチンは基本的には通常接種で構わないと思います。

Q(3) 38歳女性 バッファリンのアレルギーは以前からあった。風邪をひき急病センター受診の際この旨申し出た。これなら大丈夫と処方された2種類の薬で再び顔が腫れた。医師は「しょうがないね」と言っただけ。どうしたらいいのか。

A：薬のアレルギーのある方は一種類だけでなく種々の薬にも合わないことが多くあります。どんなときにも薬を飲まないことが一番ですので、風邪気味のときには暖かいものを食べ十分な睡眠をとってもらえるなどの対応策をとります。解熱のときも解熱剤を使わず氷で冷やす等の方策をとります。また受診の際は必ず薬アレルギーのことは申し出てください。風邪に用いる漢方薬の葛根湯は切れ味はあまりよくありませんが、安全に使うことは出来ます。

11 その他

Q(1)咳喘息について聞きたい。薬は何を使うか。いつまで吸入剤を使いつづけるのか。

A：気管支拡張剤が有効と聞いている。ステロイドの吸入剤も炎症を抑える作用があり有効とされています。症状が消失したら徐々に中止出来ます。

Q(2)46歳女性 ヘアダイをし始めて10年になる。毎月1回～2回製品はいろいろなものを使用している。前回染めた時くしゃみとひどい腹痛があり30分ほどで治まった。今回再び染めたところくしゃみ・ひどい下腹部痛・手足のしびれ・冷や汗・全身真っ赤になり救急車で運ばれた。もうヘアダイはできないのか。今までアレルギーをあまく考えていて関心をもっていなかった。

A：ヘアダイは今後しないでください。くわしく調べるならアレルギー専門医の受診をすすめます。専門医紹介。

Q(3)犬を飼いたい。杉・ヒノキ・イネにはアレルギーがある。猫を飼っている家に行き長い時間いると体がかゆくなり、くしゃみ、涙がでてくるが検査は受けたこと無い。

A：猫にくらべ犬のほうがアレルギーが出る可能性は少ないが、血液検査を受けて陰性なら飼ったらいかがでしょう。もし飼うとしても注意が必要でシャンプーを頻回にして寝室には入れないことが肝腎でしょう。

Q(4)13歳女兒 以前からアレルギーはもっている。先日の検査で総IgE1774IU/mlで異常に高いといわれた。杉クラス3・ヒノキクラス2・ハウスダストクラス3・かびクラス2となっている。最近は紫外線にあたるとぶつぶつと発疹が出るようになり軟膏を塗っている。アレルギー性結膜炎は眼科 皮膚は皮膚科 内科と別々にかかっているがどのように管理していったらいいのか。

A：眼科は少し特殊であるのでやむをえないかもしれない。今はアレルギー科を標榜している病院もクリニックもあります。

Q(5)日光にあたったところにポツポツと赤くなり始め次第に蕁麻疹様になっていく。皮膚科ではかゆみ、内科ではアレルギーとしての薬の処方を受けている。今は漢方も飲んでいいる。外出時には長袖、手袋、帽子を使用しできるだけ日光に当たらない工夫はしているが、首などは無理である。外出がおっくうになってきた。治る方法はないのか。

A：専門医回答 糖尿病の薬を含め薬の服用によって日光過敏症が起こることがある。又、膠原病の症状として日光過敏症が発症することがある。原因不明で発症することもある。一般的には日光に当たらないことと、抗ヒスタミン薬による対症療法である。症例によっては長期にわたって服用しているうちに消退することがある。ただ副作用の危念もあるので時々血液検査をしてもらうことが必要である。

Q(6)24歳男性 春先花粉症あるが症状は軽い。りんご、びわを生で食べると喉がイガイガするが、すこしかゆい程度で加熱して食べる分にはまったく問題ない。この程度の症状なのに総IgE値が1399IU/mlと出ている。これはどう理解したらいいのか。

A：専門医回答 総IgE1399IU/mlはやや高めですが、何らかの抗原に暴露されていれば、値は高くなることがあります。アトピー皮膚炎で高くなるといわれています。花粉症と花粉症による口腔アレルギー症候群でも高値を示しますがその他、寄生虫感染などの場合でも高くなる場合があります。

Q(7) 56歳女性 半年程前から、目の周りがかゆくて皮膚科にかかっている。ステロイド軟膏とワゼリンをもらい抗ヒスタミン剤の内服をしているがあまりよくなる。ステロイド軟膏は副作用が怖くこわごわ塗っている。化粧は必ずしている。病院ではパッチテストを勧められているが拒否をしている。

A: パッチテストはされた方がいい。目の周りに使用している化粧品の可能性もある。ステロイド軟膏のステロイドの皮膚からの吸収はそれほど心配ないものです。むしろ塗ったり塗らなかつたりで炎症が治まらないままのほうが害である。

Q(8) 6歳女児 3歳の時肺炎をおこし、念のためと検査した総IgEが470IU/mlであった。その後1年ごとに測定しているが、4歳時440IU/ml 5歳時690IU/ml 6歳時1400IU/mlと徐々に高くなってきた。ハウスダスト100IA/ml ダニ62IA/ml 症状はあまり無く咳などもほとんどない。蚊にくわれたりすると、治りにくくいつまでも痒がる。

3歳のときからオノンが飲みつづけている。医者からは「掃除をきちんとしてください」といわれているが、ずっと掃除、布団干し、カバーの洗濯など出来る努力はやっているのにどうしてこう値が高くなっていくのか。また3歳から年3~4回は気管支肺炎を起こしている。今年マイコプラズマ肺炎をおこした。これと関係あるか。

またIgE値はどのくらいの期間で値に反映されるのか。

A: 専門医回答 総IgEが高いからといって直ぐ臨床症状が出るとは限らない。むしろ総IgE値は抑制的に働く場合もある。IgEの値はある程度ハウスダスト、ダニに対するIgE抗体を反映するが総IgE値がそれのみによるわけではない。医者の意見どおり掃除は十分にされるにこしたことはない。IgEの産生は素因にもよるわけで、必ずしも単純ではない。度々感染症を発症しているようであるが、体の抵抗に関与する免疫機構には好中球、リンパ球、IgG、IgAなどの機能とも関係がありIgEが高値であるから免疫機能が低下しているとはいえない。IgE値はもちろん変動するが1~2ヶ月の間に大きく変動することは少ない。減少することもありうる。

Q(9) 39歳男性 化学物質が特定されるとそれらがアレルギーを引き起こす物質なのかどうか検証することは可能でしょうか。どのような機関で試験が行われているのでしょうか。

A: 専門医回答 アレルギーを起こしやすい物質は一般的には異種蛋白質です。異物（われわれが生まれたときに体の中にあるもの以外）はすべてアレルゲンになる可能性があると考えていいでしょう。アレルギーの原因になっているものを確かめるためには、皮膚反応（掻皮反応、皮内反応、パッチテスト）のほかに、RAST、CAP法、さらにヒスタミン遊離試験という試験管内での検査方法があります。しかしこれも検査できる物質は限られます。化学物質についての検査はなかなか良い方法がありません。ただ化学物質過敏症についての検査は国内で2、3の施設で行われてはいます。なお、アレルギーの可能性のある物質の検証は動物実験ということになりますが、動物実験の結果を人に外挿することは必ずしも出来ないことも事実です。

Q(10) 74歳女性 若いときひどい食中毒を起こした。以来、体が変わってしまったのか食物、香料とかある一定の期間使っていると全身に発疹が出たりするアレルギー症状がでる。

たとえばこんにやくの凝固剤、豆腐のにがり、ラーメンのかん水等、薬も使い初めはいいのだが何回か繰り返すとそれが飲めなくなる。薬はカプセルのようにコーティングされているのが悪く、カプセルをはずしたり錠剤の周りを削ったりすると、大丈夫である。

こんなそんで、薬はほとんど使えないし、添加物の入ったものは食品も使えず、今後人に面倒を見ていただくようになったらと、気にやんでいる。何かアレルギー体質への朗報はないものか。

A :今のところこれといった朗報はないが、将来は出来ると思う。今は添加物の少ない食品で過ごしてほしい。

Q(11)子供は即時型食物アレルギー、特に卵（オボムコイド、オボペプチド）に陽性です。いまままでアナフィラキシーショックで血圧低下までになったことが3回ありました。卵白培養のインフルエンザの予防注射は受けていません。麻疹、風疹のワクチンは鶏卵の胚細胞から造られると言う方がいますが本当でしょうか。予防注射は受けられるのでしょうか。

A : 専門医回答 麻疹、風疹のワクチンは確かに鶏卵の胚細胞から造られています。しかしかなり精製されていますので卵アレルギーの方でも一般的には問題ありませんが、お子さんのように強いショックを起こすような方の場合には、分割接種の方法を用いている先生もあります。たとえば、0.1ml を皮下注射して何ともなければ残りを注射するような方法です。もっとも注射に先立ち卵アレルギーが有ることを医師に話をし、何かあった時に先ず対応できるような方法を考えていただくことも必要なのではないのでしょうか。